みんなで西宮の暮らしをゆたかにするための情報紙

しあわせ

208号
2024 March

西宮市社会福祉協議会（西宮市社協）

みんなですすめる“福祉学習”

福祉学習は誰もが大切にされる社会づくりのための学習です。
今回は学校や企業での福祉学習の取り組みを紹介します。

～体験から学ぶ福祉学習～

津門小学校では、校区内にある福祉事業所や地区ボランティアセンターの方々の協力も得て、4年生を対象に「車いす体験」を実施しています。

子どもたちに普段歩いている道の段差や目線の違いを体感してもらい、車いすを利用している人への配慮やみんなが暮らしやすいまちについて考えることを目的としています。

体験前に車いすの使い方の説明を聞いた子どもたちは３人１組になり、小学校の周辺のコースを回ります。

体験を終えた子どもたちは「曲がり角は先が見えなかった」「自転車とすれ違う時に怖かったので自分が自転車に乗る時は気をつけたい」など、自分にできることを発表していました。

また、子どもたちが事業所の方に「どんなお仕事をしているんですか?」「車いすに関わる仕事ってどんな仕事があるんですか?」など聞く場面も多くみられました。どこの施設で働いているのかを丁寧に教えてくれる職員の方もいて、お互いを知る機会にもなりました。

～障害当事者から学ぶ福祉学習～

西宮市内に住む視覚障害者の竹田さんと盲導犬のマーチは小学校で子どもたちに自身の暮らしのことや盲導犬のことについて話をしています。子どもたちはそのお話を聞いて、「どのように生活しているの?」「マーチがどこかに行ってしまったらどうするの?」と次々と質問をしていきます。子どもたちが率直に疑問に感じたことを聞き、障害のある人や困っている人に自分に何ができるか、ということを考えてもらいます。

障害当事者の方から直接話を聞くことで、自分との暮らしと違うところ、同じところ、工夫したら同じになるところなど、たくさんのことに気付くきっかけになっています。

竹田さんからは、「小学校でお話をするようになってから、まちで出会った時に声をかけてくれる子どもがいてくれて嬉しいです」という言葉をいただいています。

～企業で取り組む福祉学習～

認知症や障害について、座学や疑似体験を用いて学ぶ企業が増えてきています。

日本アスコ株式会社では、高齢者疑似体験用具と視覚障害者体験ゴーグルを使って、体験学習を行いました。疑似体験に参加した社員は、日頃気にしていなかった職場での段差や事務機器等の配線が転倒につながることや掲示物や資料の色や字体によって見えにくさがあるなどの気付きや学びがありました。

このように、体験学習は誰もが働きやすい職場や利用しやすい店舗環境などについて考えるきっかけとなっています。

福祉学習は、体験や障害当事者との交流を通してその人の感じ方や考え方を知り、相手の気持ちや自分にできることを考える大切な機会です。上記の他にもさまざまなプログラムがあります。プログラム内容のご相談については、下記までご連絡ください。

お問い合わせ　地域福祉課 ボランティアセンター　TEL.0798-23-1142　FAX.0798-23-3910

能登半島へ届けよう
～私たちができる募金活動～

元日に発災した能登半島地震でお亡くなりになった方々のご冥福をお祈りするとともに、ご遺族、被災された方々に心からお見舞い申し上げます。

今、西宮から被災地へ届けられる支援活動の一つとして「募金」があります。

2月には「何か私たちにできることはないか」との想いをもった関西学院大学体育会サッカー部のメンバー約60人が中心になって、阪神西宮駅南口およびアクタ西宮2階円形デッキで街頭募金活動を行いました。通りがかった親子連れなどの多くの方々から募金箱へ寄付いただき、支援募金としてお届けしました。

寄付金には被災者に直接お渡しする「義援金」と、被災地で活動するボランティアや団体等を応援する「支援金」の２種類があります。

いずれも、被災地の復旧・復興につながる寄付となりますので、息の長い支援にむけて、皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

募金等による支援はこちら▶

なお、募金箱は一部の公共施設や地域活動拠点、スーパー等に設置されています。

善意のきもち、つながっています

～寄付物品の活用について～

善意銀行にご寄付いただきましたおむつやマスク・衛生用品等の一部は、能登福祉救援ボランティアネットワークを通じて、能登半島地震被災地の福祉施設に届けました。

善意銀行への寄付報告（令和5年8月～令和6年1月）

心温まるご寄付をいただき、ありがとうございました。
引き続き、「善意銀行」へのご協力をよろしくお願いいたします。

物品寄付　おむつ、未使用のタオルや日用品、衛生用品、車いす、ボッチャ用ランプなど

デイサービスセンターらいふ西宮、明治安田生命阪神支社西宮営業所、浅井幸子、第一生命西宮オフィス、石上和男、NPO法人とんとん、大関株式会社、株式会社玄米家、藤本糧穀株式会社、名塩地区社会福祉協議会、兵庫信用金庫、子供体操・健康体操 ママさんピラティス シニアピラティス 代表 鍵山智子、株式会社佐野商店、キコーナ阪神西宮店、匿名　全29件（敬称略）

金銭寄付　合計 593,442円

西宮商工会議所女性会、西宮市瓦木地区民生委員児童委員協議会、総合福祉センター利用者、西宮市婦人共励会、パントタビスル甲子園2023、子供体操・健康体操ママさんピラティスシニアピラティス代表鍵山智子、大西富美子、匿名　全24件（敬称略）

お問い合わせ　総務課　TEL：0798-34-3363　FAX：0798-35-5500

講座のお知らせ

認知症サポーター養成講座

認知症についての正しい知識を身につけるための講座です。受講された方には、オレンジリングをお渡しします。

【日　時】令和6年5月29日（水）　13：30～15：00
【場　所】西宮市総合福祉センター 本館2階研修室1・2
【対　象】市内在住、在勤、在学者　【参加費】無料　【定　員】30名（先着順）
【申込期間】令和6年4月25日（木）～令和6年5月28日（火）
【お申し込み】
右記二次元コードまたは電話、FAXまたはメール（氏名（ふりがな）・住所・年代・電話番号を明記）で申し込み
【お問い合わせ】地域福祉課 地域福祉係
TEL.0798-23-1140　FAX.0798-23-3910　E-mail：ninsapo@n-shakyo.jp

お申し込みはこちら

西宮市くらし相談センターつむぎ　くらしのこと、一人で悩まず一緒に考えませんか？

西宮市くらし相談センターつむぎでは、「生活が苦しい」「仕事が続けられるか不安」「ずっと家にいる家族の将来が不安」など、多岐にわたる相談をお受けしています。これまでに多く寄せられた相談をご紹介します。

例1　生活が苦しい

40代男性より、「怪我のため仕事を退職して収入がなく、このままだといずれ家賃や生活費が払えなくなる」との相談があり、家計の見直しや今後の生活について一緒に考えました。男性からは「一人では何をしたらいいか分からなかったが、相談ができて心強かった」との声をいただいています。

例2　家にずっといる家族のことが不安

家族より「何もせず自宅にいる娘が心配」との相談がありました。働いていた時期もありましたが、仕事や人間関係がつらかった様子で退職されたそうです。仕事への不安、自信のなさもあり、その後何もできなかったとのことでした。家族から本人に繋いでいただき、一緒に交流活動や仕事体験などに参加しました。現在は短時間ですがお仕事をされています。

「こんなことを相談してもいいの?」という内容もあるかもしれません。秘密は厳守しますので、生活のこと、仕事のこと、ご家族のことなどご相談ください。

お問い合わせ
西宮市くらし相談センターつむぎ
（生活困窮者自立支援制度における西宮市自立相談支援事業受託）
TEL：0798-23-1031　FAX：0798-31-1807
相談時間　月曜～金曜9：00～17：00
（土、日、祝日、年末年始は休み）

青葉園・ふれぼのからのお知らせ

重い障害のある人が通う青葉園・ふれぼの。

一人ひとりが地域で生活する主体者として、もっと沢山の人と関わりながら生きていきたいという本人さん*の願いから、地域の方々との交流活動を何十年も大切に続けてきています。コロナ禍ではリモートでの交流を行っていましたが、ここ一年は以前と同じように、対面で交流を行うことが増えてきました。

＊私たちは青葉園・ふれぼのに通う一人ひとりのことを「利用者」ではなく「本人さん」と呼んでいます。

交流活動
- **「青葉のつどい」**…公民館で地域の方々と近隣の散策や食事交流会、農園作業等を行っています。
- **「多世代交流ふらっとパーク」**…中前田町にある「地域共生館ふれぼの」で毎月第二土曜日にボードゲームや障害者スポーツ「ボッチャ」等を行っています。

上記の他にもさまざまな交流活動を行っています。詳しくは社協ホームページをご覧ください。また、交流活動に関心がある方は地域活動センター青葉園または地域活動センターふれぼのまでご連絡ください。

西宮市社会福祉協議会ホームページの青葉園ブログの二次元コードです▶

お問い合わせ
地域活動センター青葉園
TEL：0798-35-0013　FAX：0798-35-4781
地域活動センターふれぼの
TEL：0798-61-1373　FAX：0798-61-1374

赤十字の活動資金にご協力ください

日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

人間を救うのは、人間だ。
Our world. Your move.

赤十字運動月間　**5月1日～5月31日**

日本赤十字社は、多くの苦しむ人々の笑顔を取り戻せるよう、様々な活動を展開しています。

赤十字の活動は、赤十字の趣旨にご賛同くださる皆さまからお寄せいただく活動資金によって支えられています。赤十字が創立された5月を「赤十字運動月間」としています。

今年も温かいご支援を心からお願い申し上げます。

日本赤十字社兵庫県支部 西宮市地区
事務局 西宮市社会福祉協議会 地域福祉課
TEL.0798-23-1140　FAX.0798-23-3910

この広報紙は、市民のみなさまからご協力いただきました「赤い羽根共同募金」の配分金及び「社協会員会費」で作成しています。

西宮市社会福祉協議会
〒662-0913 西宮市染殿町8-17（西宮市総合福祉センター内）
TEL.0798-34-3363（代）／FAX.0798-35-1132　URL：https://nishi-shakyo.jp

2024年3月25日発行
年4回発行（次号5月発行予定）